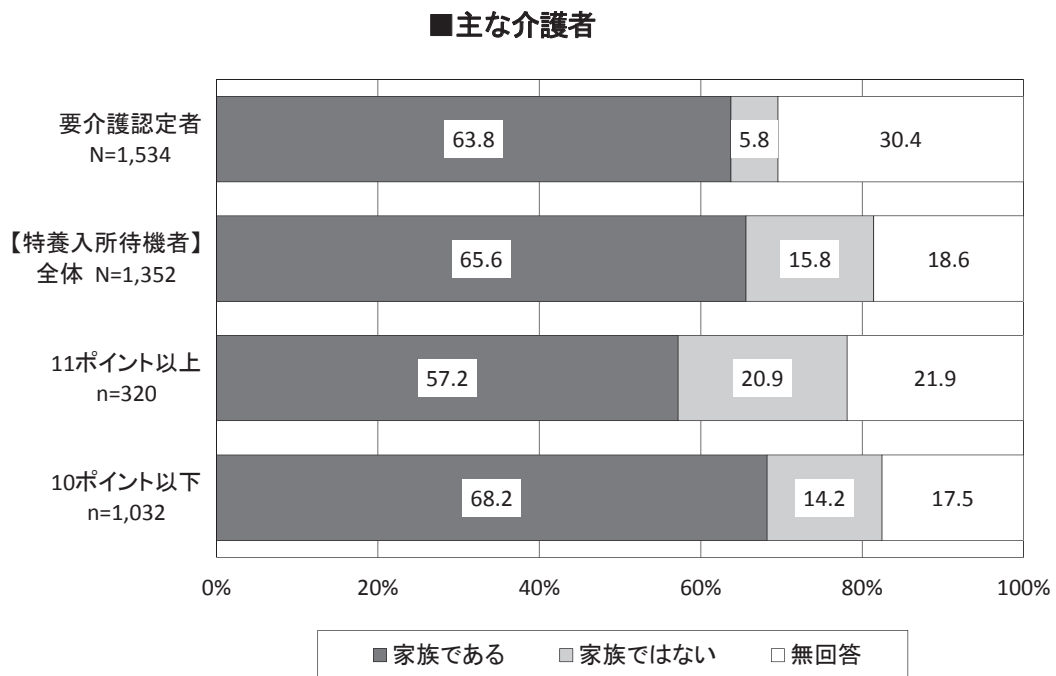


10 家族介護の状況

(1) 主な介護者

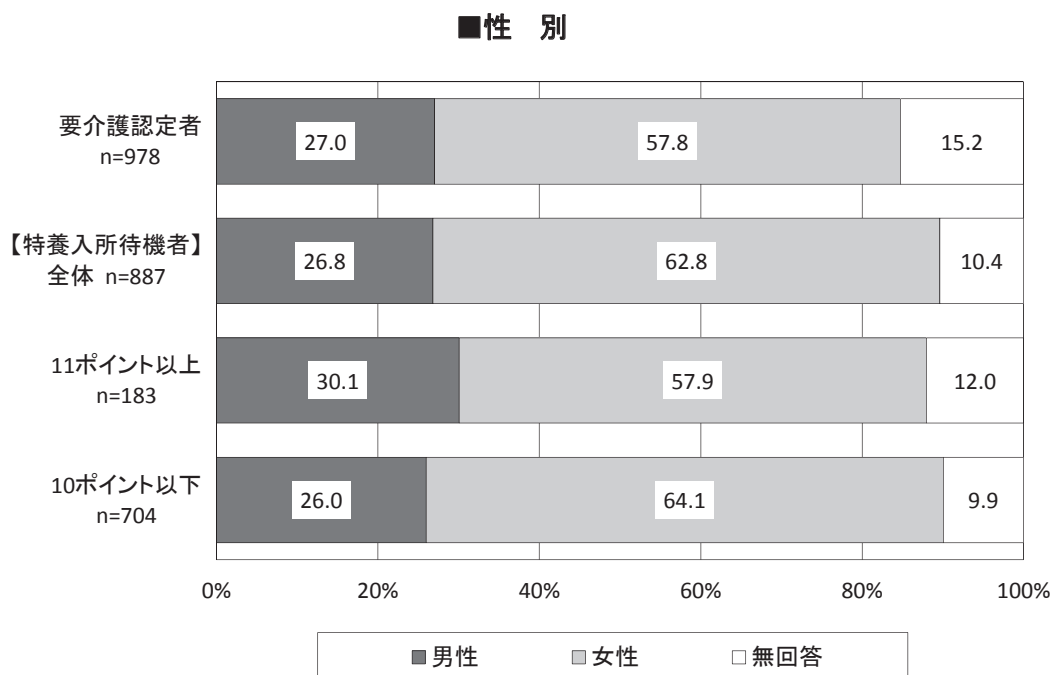
○要介護認定者、特養入所待機者ともに「家族である」が6割を超えている。



(2) 主な家族介護者の属性

① 性別

○主な家族介護者の性別は、要介護認定者、特養入所待機者ともに「男性」がそれぞれ3割弱、「女性」が6割前後を占めている。

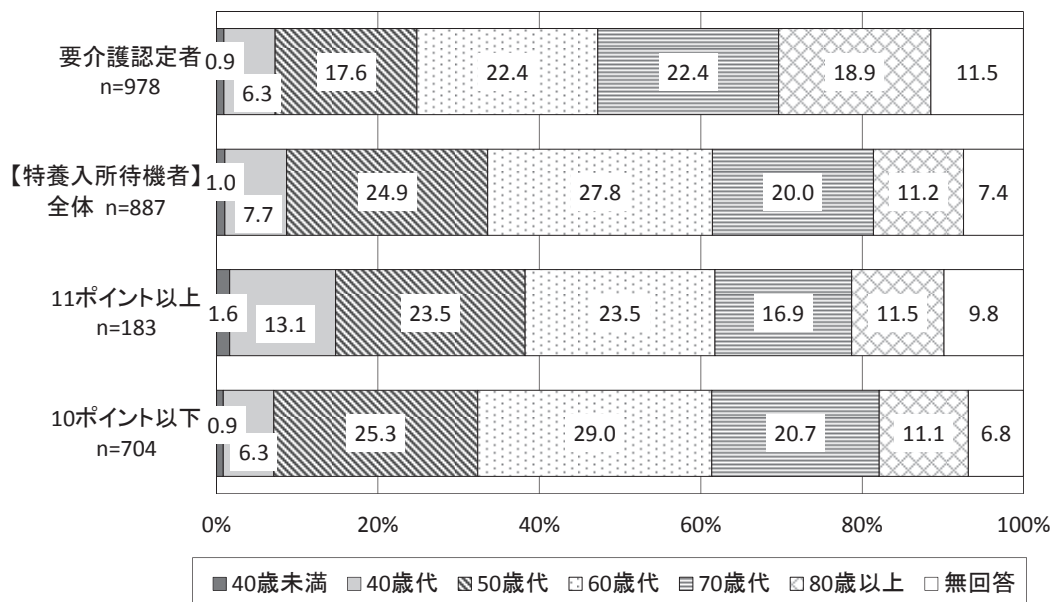


② 年齢

○主な家族介護者の年齢は、要介護認定者では「60歳代」「70歳代」が最も多くともに22.4%、次いで「80歳以上」が18.9%、「50歳代」が17.6%となっている。

○特養入所待機者では、「60歳代」が最も多く27.8%、次いで「50歳代」が24.9%、「70歳代」が20.0%と続いている。

■年 齢

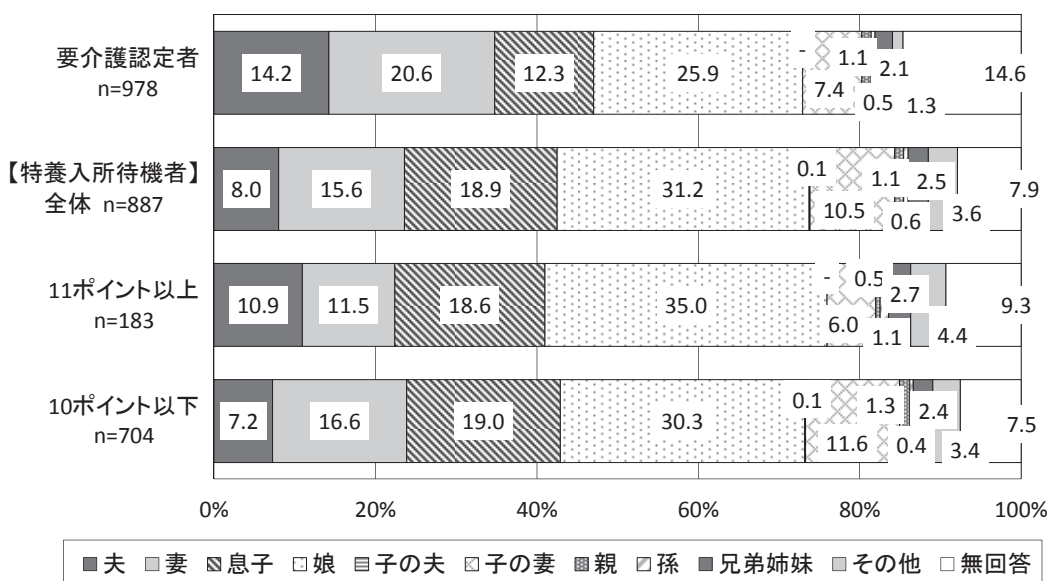


③ 続柄

○主な家族介護者の続柄は、要介護認定者では「娘」が最も多く25.9%、次いで「妻」が20.6%、「夫」が14.2%となっている。

○特養入所待機者では、「娘」が最も多く31.2%、次いで「息子」が18.9%、「妻」が15.6%と続いている。

■続 柄

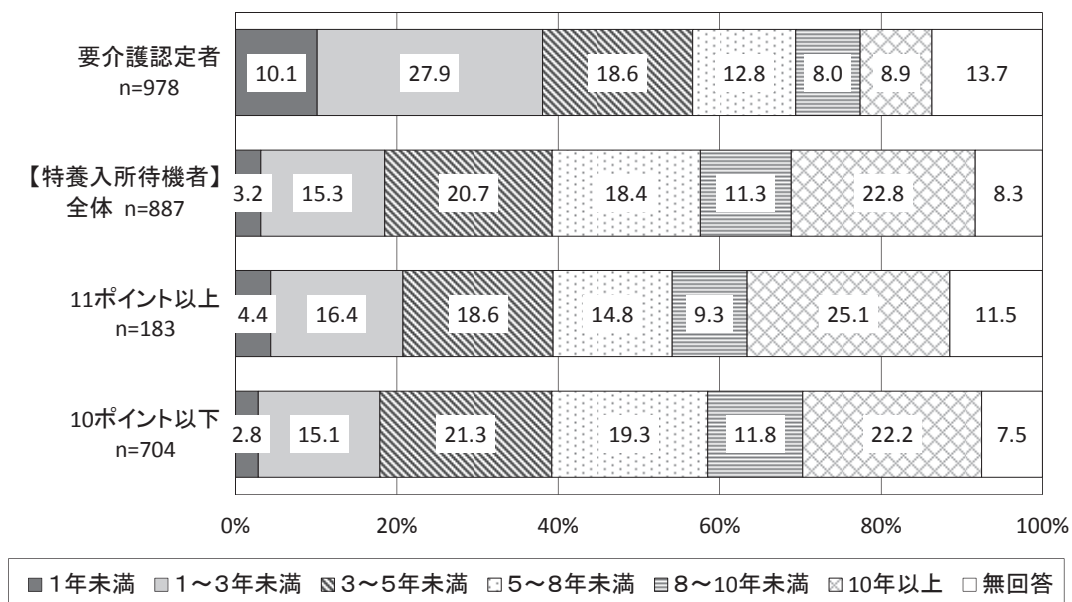


④ 介護期間

○要介護認定者では、「1～3年未満」が最も多く27.9%、次いで「3～5年未満」が18.6%、「5～8年未満」が12.8%となっている。

○特養入所待機者では、「10年以上」が最も多く22.8%、「8～10年未満」(11.3%)と回答した人も含めると、「8年以上」が3割を超えている。次いで「3～5年未満」が20.7%、「5～8年未満」が18.4%と続いている。

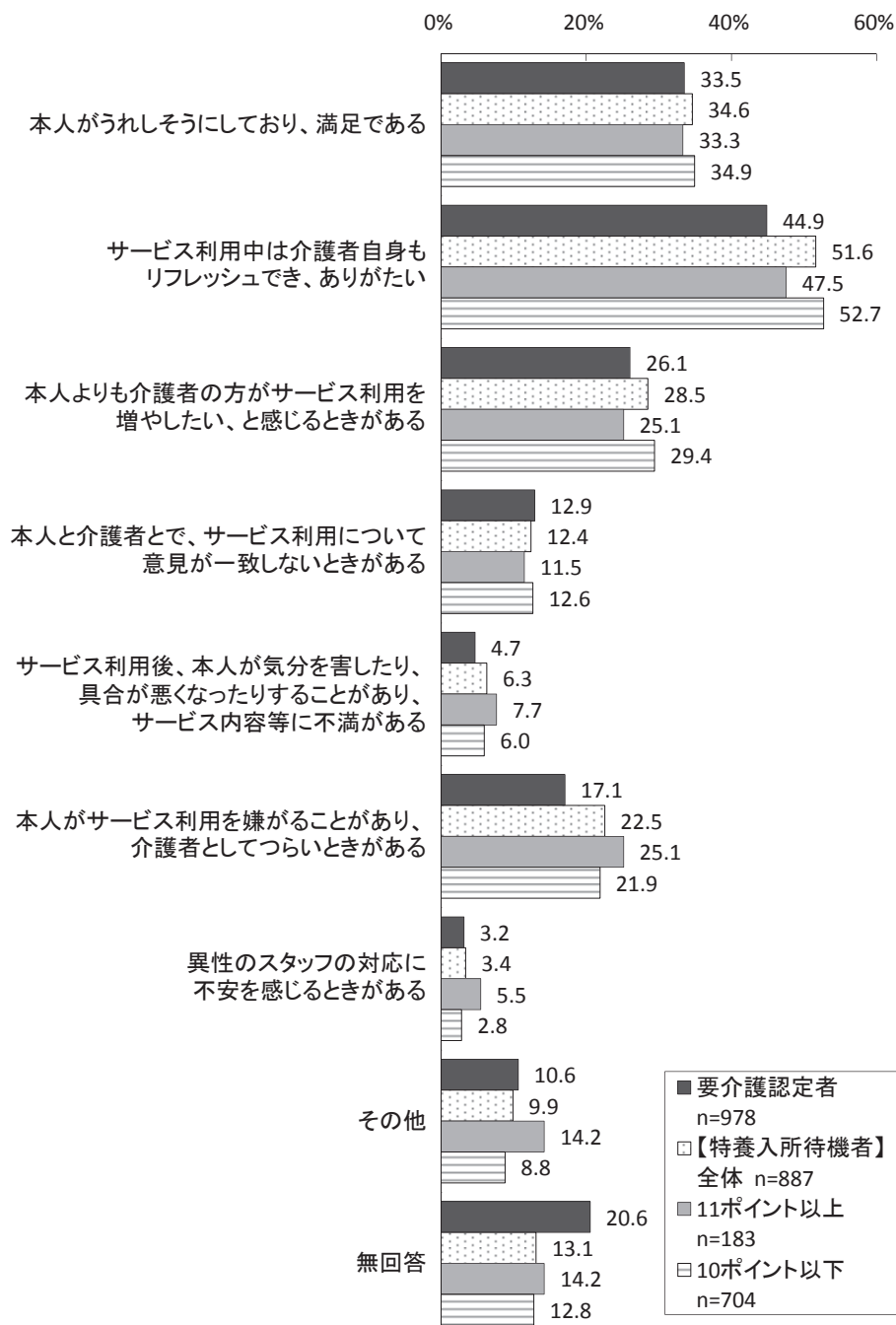
■介護期間



(3) 介護サービス利用時の家族介護者の感じ方

○要介護認定者、特養入所待機者ともに「サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい」、「本人がうれしそうにしており、満足である」と感じている人が多いものの、「本人よりも介護者の方がサービス利用を増やしたい、と感じるときがある」、「本人がサービス利用を嫌がることがあり、介護者としてつらいときがある」などと感じている人もみられる。

■介護サービス利用時の家族介護者の感じ方（複数回答）



(4) 家族介護者の負担や困りごと

○要介護認定者では「日中、家を空けるのを不安に感じる」(40.8%)、特養入所待機者では「精神的なストレスがたまっている」(49.4%)が最も多い。

■家族介護者の負担や困りごと（複数回答）

	要介護認定者 (n=978)	【特養入所待機者】 全体(n=887)		(%)
		11ポイント以上 (n=183)	10ポイント以下 (n=704)	
本人に正確な症状を伝えるのが難しい	14.7	25.5	27.3	25.0
来客の際に気を遣う	12.8	12.4	10.9	12.8
日中、家を空けるのを不安に感じる	40.8	43.1	42.1	43.3
本人の言動が理解できないことがある	19.3	31.9	31.1	32.1
本人に受診を勧めても同意してもらえない	6.2	8.2	9.3	8.0
適切な対応や介護方法がわからない	9.8	13.6	14.8	13.4
介護を家族等他の人に任せてよいか、悩むことがある	8.9	10.7	12.0	10.4
誰に、何を、どのように相談すればよいかわからない	7.5	9.8	13.1	8.9
家族や親族に介護を協力してもらえない	9.8	18.7	20.8	18.2
家の構造が介護をするのに適していない	10.6	22.3	21.3	22.6
サービスを利用したら本人の状態が悪化した(したことがある)	2.6	6.3	10.4	5.3
睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない	14.9	27.1	23.5	28.0
身体的につらい	28.0	38.0	42.6	36.8
精神的なストレスがたまっている	38.3	49.4	43.7	50.9
自分の用事を済ませることができない	20.6	32.1	30.1	32.7
自分の自由になる時間が持てない	28.1	34.3	33.9	34.4
先々のことを考える余裕がない	21.6	30.3	30.1	30.4
経済的につらいと感じたときがある	17.2	26.4	28.4	25.9
その他	5.1	9.6	14.2	8.4
特に困っていることはない	9.3	3.3	1.6	3.7
無回答	19.9	20.4	24.6	19.3

【要介護認定者】

- 要介護度別にみると、要支援、軽度と比べ中重度では、「睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない」、「身体的につらい」、「自分の用事を済ませることができない」、「自分の自由になる時間が持てない」が多くなっている。
- 軽度と中重度では、要支援と比べて「精神的なストレスがたまっている」の割合が高くなっている。

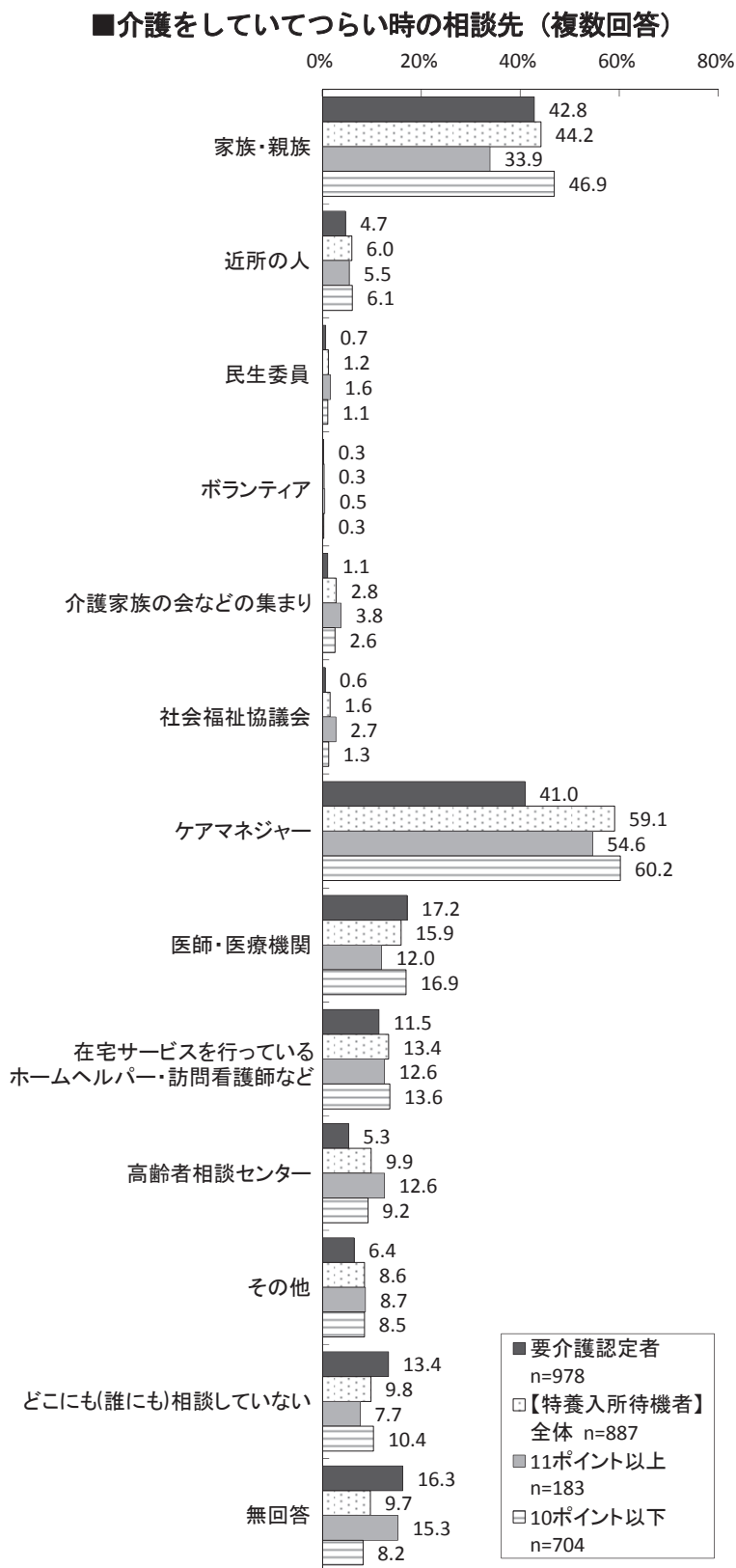
■家族介護者の負担や困りごと（複数回答）＜要介護認定者：要介護度別＞

	【要介護認定者】 全体 (n=978)			
		要支援 (n=218)	軽度 (n=344)	中重度 (n=343)
日中、家を空けるのを不安に感じる	40.8	33.0	46.5	44.9
精神的なストレスがたまっている	38.3	28.0	42.2	44.9
自分の自由になる時間が持てない	28.1	17.0	26.7	40.5
身体的につらい	28.0	23.9	23.8	37.9
先々のことを考える余裕がない	21.6	15.6	21.2	27.1
自分の用事を済ませることができない	20.6	13.8	17.4	30.0
本人の言動が理解できないことがある	19.3	11.0	21.2	23.3
経済的につらいと感じたときがある	17.2	16.5	12.8	23.3
睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない	14.9	11.0	10.8	23.6
本人に正確な症状を伝えるのが難しい	14.7	10.1	14.0	19.8
来客の際に気を遣う	12.8	11.5	12.2	14.6
家の構造が介護するのに適していない	10.6	9.6	11.3	12.2
適切な対応や介護方法がわからない	9.8	11.0	7.6	11.7
家族や親族に介護を協力してもらえない	9.8	7.8	10.2	11.1
介護を家族等他の人に任せてよいか、悩むことがある	8.9	6.0	8.4	10.5
誰に、何を、どのように相談すればよいかわからない	7.5	8.3	6.1	7.3
本人に受診を勧めても同意してもらえない	6.2	6.9	7.8	5.0
サービスを利用したら本人の状態が悪化した(したことがある)	2.6	1.4	1.5	4.4
その他	5.1	4.6	5.2	6.1
特に困っていることはない	9.3	12.4	11.6	4.4

※ 無回答は省略

(5) 介護をされていてつらい時の相談先

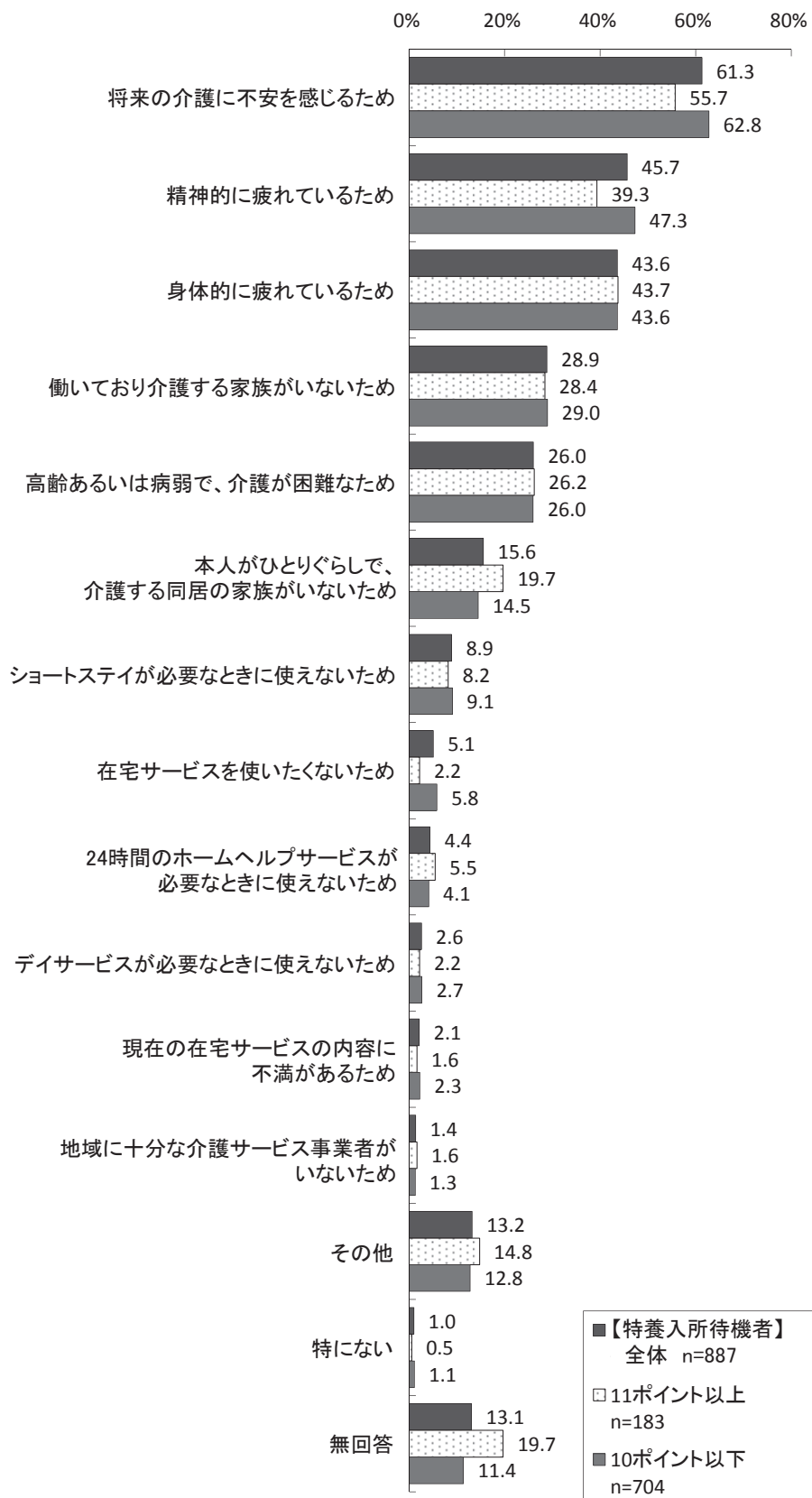
- 要介護認定者では「家族・親族」（42.8%）、特養入所待機者では「ケアマネジャー」（59.1%）が最も多くなっている。
- 一方、「どこにも(誰にも)相談していない」と回答した人が要介護認定者、特養入所待機者ともに1割前後みられる。



(6) 家族介護者の視点から特別養護老人ホームを申し込んだ理由

○「将来の介護に不安を感じるため」が最も多く 61.3%、次いで「精神的に疲れているため」が 45.7%、「身体的に疲れているため」が 43.6%と続いている。

■家族介護者の視点から特別養護老人ホームを申し込んだ理由（複数回答）



(7) 家族介護者の視点から特別養護老人ホームに期待すること

○「24時間体制で介護が受けられること」が74.2%、次いで「専門的な介護が受けられること」が62.8%、「孤独にならないこと」が51.0%と続いている。

■家族介護者の視点から特別養護老人ホームに期待すること（複数回答）

